

東新町新聞



第8号 (平成25年8月20日)

城東地区が、「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されました。

以前から、まちづくり協議会などの活動を通じて、その実現を推進してきた、国指定の「重要伝統的建造物群保存地区」に、東新町を含む旧出雲街道沿いの六ヶ町内が平成二十五年八月七日付で指定されました。

今まで、県内では倉敷市の「風致地区」、高梁市の「吹屋地区」が指定を受けていますが、岡山県で三番目の指定と言うことで、この地域に住むものとして誇らしく思います。今後、この重要伝統的建造物に指定されたお宅

は、一定の条件をクリアすれば、固定資産税の減免等を受けることができます。

また、市だけではなく国の補助金を受けられると言うことで、改築や修景など建物の維持管理が以前に比べればやりやすくなったと言えます。勿論、いいことばかりではなく、改築や修景などの際、補助を受けようと思うと事前にその工事内容等について、行政の審査を受けなければならないなど制約も生じます。



城東地区全体を見ると、観光地として東地区のむかし町屋と洋学資料館、中地区の城東屋敷とだんじり保存庫、そして田酒造跡を中心とした西地区と三つの観光スポットを売り物に観光客の誘致を図るようになります。まだまだ道半ばではありますが、こうした指定をきっかけにこの城東地区が昔日の賑わいを取り戻すことが出来れば、これに勝る喜びはありません。皆様には、今後とも色々と御支援・御協力を御願ひすることがあると思いますが、どうぞよろしく御願ひ致します。



有り難いご寄付を頂きました。

五組の故 坂手勝美さんの御子息 坂手宣夫さん（山口市在住）から、勝美さんがお住まいだった住居を引き払う際、町内へのお礼として多額のご寄付を頂きました。お父上の坂手勝美さんには、我々の方こそ、長年、町内会や老人会の役員として、色々とお世話になっており、こちらの方からお礼を申し上げるべきところで、恐縮しております。御遺族の御意志を有り難く頂戴し、今後、町内会のため有意義に使わせて頂きたいと思えます。坂手宣夫さん、誠に有り難うございました。

平成二十五年度仏送り行事

今年も例年通り、お盆の仏送り行事が、八月十五日（木）午後六時から、旧東中グラウンドで実施されました。

この旧東中グラウンドでの仏送り行事は、東新町の他、上之町六・七丁目、林田山根地区、林田住吉地区、東松原の六町内の皆さんが利用されています。

今年もまだ明るい午後六時から午後八時過ぎまで、ほとんど途切れることなく御供えに使った花や供物などをかかえた皆さんが訪れ、ろうそくに火を灯し線香を立てて熱心にお祈りをしておられました。昔は、舟形の燈籠を作って吉井川に流していたものですが、河川の自然環境に配慮していつの頃から取りやめになりました。

あの独特の風情を楽しむことが出来なくなつたのは寂しい気もしますが、環境に優しい行事を行うためには致し方ないことなのでしょう。

皆さんがお持ちになつた供物等は、十六日の朝、市の委託業者により綺麗に片付けてもらいました。

合掌



「口腔ケアと嚥下訓練」むせない方法」後援会

去る七月二十三日（火）午前十時半から、町内会行事として標記の講演会を実施しました。



講師は、医療法人 東浩会 石川病院 勤務の看護師 横川 正行氏です。横川さんは、看護師の中でも摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を持つ大変優秀な方です。

講演は、「安全に食べるために」口腔ケアと嚥下訓練」と題して行われ、町内外約二十名の方々が熱心に聞いておられました。

人間は、加齢とともに身体の色々な機能が衰えていきま

す。歯が悪くなれば、食物をかみ砕くこともままならなくなり、そのため飲み込むことも難しくなってきます。

- 一 一人にとっての基本的欲求
- 二 生命維持のための栄養・水分補給
- 三 食べる楽しみの継続



お正月にお年寄りがお餅をのどに詰められて病院に運ばれたというニュースをよく耳にしますね。

「口から食べる」ということは、一人にとっての基本的欲求、生命維持のための栄養・水分補給、食べる楽しみの継続という重要な要素があります。いくつになっても、自分の口からおいしい食事を取りたいものです。そのためには、日頃から健康に留意するとともに、講演会の中でも紹介された飲み込むための訓練も積極的に実施するなど、自らの力で健康を維持したいものだと思います。

家のワンコ



今回は、六組の武田さん御一家の愛犬チャックル君を紹介します。犬種は、ポメラニアン。年齢は七才で男の子です。性格は活発ですが、無駄吠えすることもなく看板犬の役目をきちんと果たしています。今年の夏は、余りに暑いので、インタビューの時は、下半身短めのライオンカットでした。

美作大学生による「ゆかたイベント」

去る七月九日（火）午後七時前から、いつもこの城東地区の行事などに協力してくれている美作大学堀川ゼミの皆さん十七名が、大学の浴衣登校日に合わせて、この城東地区を散策してくれました。



午後七時半頃からは、中村屋さんの駐車場をお借りして音のしない花火大会を催し、町内の子供達も大勢参加して和やかな夕べを過ごしました。



この様子は、地元の津山朝日新聞にも紹介され、東新町のPRにもなったことと思います。美作大学の皆さん、有り難うございました。

編集後記

お盆も終わり、早朝などかすかに秋の気配を感じる様になってきた。今日の頃ですが、今年の夏はことのほか暑さが厳しく、また突然の大雨など気候不順も相まって、体調の管理には頭の痛いところではあります。

特に高齢者の皆さんには、全国でも多くの方々が熱中症により倒れたりしてしまっています。

どうか、皆様にはのどの渇きを待たず定期的に水分を取る等、健康には万全を期して頂きたいものです。

暑さ寒さも彼岸までと言います。もう少しの辛抱ですので、頑張つてこの暑さを乗り切りましょう。

